



### 楽しい夏休みの思い出

夏休みの期間中、市内のボランティア団体 2 組、コーラスグループ「樹の風」(7 月) と音楽療法「かきつばた」(8 月) に来ていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。「樹の風」さんではグループの方たちが踊りを交えて歌ったり、子ども達とおしゃべりの掛け合いもありました。「上を向いて歩こう」などなじみの薄い歌にも子ども達は意外と(?) 興味を示していて、スタッフの視点も広げて下さいました。

コーラスグループ「樹の風」



音楽療法「かきつばた」(皆でフワフワ海の中)



「かきつばた」さんはたくさんの種類のリズム楽器や小道具を用意されて皆で音楽に合わせて鳴らしたり、叩いたり。特に「ウィンドチャイム」という楽器の「シャラン」という音色はとても気持ちよく響いて皆のお気に入りでした。素敵なひとときをありがとうございました。

### デイサービス通信



#### 避難訓練

9 月に入って、デイサービスでは 2 階の職員も合同で避難訓練を行いました。

緊急地震速報から地震が発生、スタッフの指示でまず利用者さんは机の下にもぐったり、座布団で頭を保護します。その後、厨房より火災が発生したと想定し、すぐ前の九品地公園へ避難しました。

利用者さんの中には全盲の方、歩行が不安定な方、車椅子の必要な方もいらっしゃいます。初日はスタッフの誘導により、安全に避難することができました。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの心構えが大切だと思います。



防災頭巾を被り避難訓練

9 月 9 日はお休みの方もあり、利用者は少なく、急きょ事務職員も参加して、昼食はホットプレートで焼きそばを焼きました。わいわい楽しく食事をして「こんなデイサービスも楽しかった」と K さん。いろんな楽しみ方を工夫したいと思います。



焼きそばパーティー?



### 心づれづれ



#### 「しわさな会」

ちょっと変わった会でしょう。昭和 37 年度に一宮市立神山小学校を卒業した者たちの小中合併の会です。当時、小学校教諭をしながら出産しました。働く女性の地位は低く産前産後 14 週 産休補助教員が配置されました。「産ませて頂く」という態度で少し早めに出勤しました。腕白坊主の多い級で すっかり荒れていましたが、必死に頑張って 3 月には卒業式を迎えることができました。卒業文集もでき、表題は投票でみんなで決めることにしました。「昭和 37 年度卒業生」の一字ずつ取って「昭→し 和→わ 3→さ 7→な」文集も同窓会も「しわさな会」に決定しました。

あれから 54 年 口伝えに住宅型有料老人ホーム「ヴィヴァハウス」に入居していることを聞いて 6 年 4 組の教え子たちが訪ねてきてくれました。死亡した者 5 名、消息不明 10 名、会いに来てくれた者 14 名。平成 27 年 5 月 30 日には料亭で会食をしました。送り迎えから 心づくしのプレゼントを頂きました。それぞれ社会人として家族を守り、老親の面倒もみたようです。経済的にも社会的にも 50 年間にいろいろ苦しいこともあったと思うに、和気あいあいと酒を酌み交わしている姿を見て、教員冥利に尽きると感じました。 **上田美智子**

上田美智子様は平成 28 年 8 月永眠。小学校教諭として働きながら結婚出産を経験し、夫亡き後は独居で気丈に生活をされ、介護保険を利用しながらの生活は受け入れがたい事もあったと思います。平成 27 年夏、同窓会の投稿を依頼しましたが筆が進まぬ様子でしたので、二女様に代わりにご投稿いただきました。先日、遺品の中にあつたことを伺い、遅ればせながら投稿させていただきます。心より感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。



### ヘルパーだより

No. 51

障害福祉サービスの居宅サービスにおいて、今まで利用者の自立を促すために一緒に行う家事援助は身体介護として認められていましたが、随時受給者証が更新される方から家事援助で算定するようになりました。

家事援助と身体介護では、利用料金の差があり、減収とはなりますが、当事業所では今までどおりの支援方法でケアを行っています。

知的障がいの A さんは、以前身体介護と家事援助の 1 時間ずつで、家の中の片付け、掃除、洗濯、調理等を見守りながら行ってきました。ゴミの分別も、1 片の紙も資源と可燃ゴミに分けて「これは〇〇、これは取っておく」とこだわりを持って分別されます。「次は〇〇しますか?」と促しながら、現在は 2 時間の家事援助として行っています。

一人暮らしで、精神の障がいを持つ B さんは、入退院を契機に生活への不安が募り、生活介護(デイサービス)を試してみることにしました。居宅介護では、部屋の片付けを一部身体介護で一緒に行ってきたことが、家事援助で 1 回に最大限 1.5 時間のケアになりました。

うつ傾向が強くなればなるほど、在宅へ入るヘルパーに頼りきってしまう傾向もありますが、生活介護へ安心して行けることで心のゆとりが生まれているように感じました。

本人の自立を促す家事はそれぞれ一人一人やり方が違います。利用者さんと信頼関係を深める家事支援でありたいと思います。

